

哲学対話によるビジネスパーソンの内的変化の促進の試み

キーワード：ビジネスパーソン 多忙 分かり合いたい 自分自身のことを知らない 対話の心地よさ 多様性の確保

川原真紀子 (One-yourboster/Yasmine)

哲学対話の副産物<予想外の癒し>

もし、ビジネスパーソンが哲学対話をしたら、心の在り方や考え方は変わるのか??

変わるとするならば、お疲れ様なビジネスパーソンに、自分の心を対話によって解きほぐし、素直な柔らかい心で以て、家族との時間をはじめとするプライベートを楽しんでほしい。

そして、英気を養って、曇りのない心でお仕事の最前線に立ってほしいです。

いま、社会を動かす最大勢力は市井のビジネスパーソンたち。

ものすごく頑張って日本を牽引してくれています。

最近よく言われている、ダイバーシティを社会に浸透させる動きのキーパーソンも彼ら。

日本のビジネスパーソンが良く変われば、日本が良く変わります。日本が良く変われば...

「ゆっくり聞いてゆっくり変わる」

鎌倉哲学カフェのキャッチコピー・立教大学・河野先生がおっしゃられた言葉。

対話の場で、とあるビジネスパーソンがソリッドな考えを展開して、ご本人の意図しないうちに、年若い人の心を折っている場面を見かけたことがあります。

ところが、対話をしていくうちに気持ちに変化して、終盤には「わたしの今までの考え方は、本当は間違っていたのかな…?」と、まるで別人のような表情でつぶやかれることがあります。このつぶやきの行方を、あなたも知りたくはありませんか。

“信念” “信条” “...そういった「ご本人にとっての正しい世界」が、哲学カフェでの対話を積み重ねることによって、深まっていく、あるいは全く違う地平にゆっくりと変わっていくのならば、その人にとっても類稀な瞬間のはず。

ただ、彼らに内的な変化が起きているのかどうかは、実際にはわかりません。

哲学対話によって刺激されたことによる、浅い理解なのか、じっくり深まる本質的な変化なのか。 →「ゆっくり聞いて、ゆっくり変わる」ことができるのか。

哲学対話を経験した人でないと、変化の有無でさえもわかりません。

変化があってもご本人にとっては無自覚な可能性があります。

それならば、実験的に「変わる」対話をやってみよう、そして、率直な感想を聞いてみようというのが、本ワークショップの狙いです。主にビジネスパーソンを中心に、日頃は彼らに接点のない属性の方々を交えてワークショップとして哲学対話をします。

(かわはら・まきこ) ライフワークとして独自の活動「Booster」をしています。Booster (人を元気にさせるためのデバイスとして、自分を機能させる) の理論の研究・構築と実践をするなかで、「哲学カフェ」におけるファシリテーターの役割に興味を持ちました。現在は、ファシリテーターよりも対話そのものと、副産物としての癒し効果に興味が移っています。